

第2回

第2次安城市市民協働推進計画策定のための

協働井戸端会議

2017.03.25.Sat

かわら版



これからの協働のヒントを学び、
今後の方向性を話し合いました！

町内会や市民活動団体、市民が連携・協働して取り組む事業について話し合う“第2回協働井戸端会議”を3月25日に開催しました。

第一部では、NPO 法人地域福祉サポートちた代表理事の岡本一美さん、コミュニティ・ユース・バンク momo 事務局スタッフの斉藤順子さんをお招きし、これからの安城の協働のあり方を考えるにあたって参考となる事例や考え方をお話しいただきました。

ミニ講演①

【テーマ】 事例から学ぶ 志縁と地縁、
多様な主体による課題解決型の協働

【講師】 NPO 法人地域福祉サポートちた
代表理事 岡本一美さん

ミニ講演②

【テーマ】 成果志向型のまちづくり
これからの自立した市民団体のあり方

【講師】 コミュニティ・ユース・バンクmomo
事務局スタッフ 斉藤順子さん



第2回 協働井戸端会議

日時：平成 29 年 3 月 25 日（土） 13:30～

場所：安城市民交流センター 多目的ホール

【プログラム】

1. 開会・あいさつ
2. 本日のプログラム説明
3. 前回のふり取り
4. ミニ講演①（講師：岡本一美さん）
5. ミニ講演②（講師：斉藤順子さん）
6. 共有タイム
7. 質疑応答タイム
8. あんじょうの協働の今後の方向性（施策アイデア）を出し合おう！
9. 発表タイム
10. 事務連絡・閉会

第二部では、お二人の講師との質疑応答、意見交換の後、5つのグループに分かれて、安城における今後の協働の方向性（施策アイデア）について話し合いを行いました。

お二人の講師の方のお話の要点、ならびに第二部の話し合いで出た主な意見は裏面の通りです。

なお、スタッフ含め参加者の総数は 30 名でした。

第一部 ミニ講演会 これからの協働と活動団体運営のカタチ！



岡本一美 さん

【事例から学ぶ 志縁と地縁、多様な主体による課題解決型の協働】

東浦町では、「サポートちた」が主体となって、NPOの知恵や実践をまちづくりに生かすべく、NPO「絆」を中心にどのような連携が可能かを考えるための「東浦町円卓会議」を開催しました。志縁団体と地縁団体が構成メンバーです。話し合いの結果、多職種連携ボランティアチーム「チームにじ」が組織化され、2015年には“0歳～100歳みんなでつくるあしたの東浦 シルバーフェスタ”を開催しました。

現在、「チームにじ」では、東浦町の地域福祉計画の住民調査結果を見直し、地区を限定して、「住民歴書」アンケート調査と新たな円卓会議に取り組んでいます。



斉藤順子 さん

【成果志向型のまちづくり これからの自立した市民団体のあり方】

私たちはNPOバンクと言われています。市民のお金“志金”を活用することで、地域の課題解決の重要な担い手となるNPOを、行政だけでなく財団、地域金融機関、地域企業みんなで支え、課題解決につなげる仕組みをつくろうとしています。

過去10年間で60件の融資をしてきました。例えば、岐阜県郡上市で田舎暮らし体験施設を運営するNPO、名古屋市で重い障害をもった子どもたちの介護サービスを提供しているNPOなどの活動を応援しています。融資先には、若いスタッフが伴走支援し、情報発信などの面から事業の成長を手助けしています。

第二部 グループワーク あんじょうの協働の今後の方向性(施策アイデア)を出し合おう！

第1回の協働井戸端会議の結果とミニ講演会の結果を踏まえつつ、あんじょうの協働の今後の方向性(施策アイデア)について、5グループに分かれて意見を出し合い、グループで2～3つの一押し提案を整理しました。各グループから発表があった一押し提案及び意見の一部を紹介します。

Aグループ

●一押し提案

- ：町内会でも、多様性を生かそう
(年代、職業、人、組織)
- ：NPOは、思い・目的を上手に発信しよう

●参加者の意見

- ：NPOと町内会の協働を
- ：「困っている」の掘り起こし→「困っている」を知って、課題を明らかに
- ：NPOが解決したい課題を明らかに

Cグループ

●参加者の意見

- [人]
- ：伴走支援機能をコーディネーターに
- ：NPOをサポートするNPO
- [場所]
- ：困っていることの吸い上げ
- ：地域円卓会議を組織する
- ：民間型総合窓口必要
- [お金]
- ：市版クラウドファンディング



Dグループ

●一押し提案

- ：農業大学の設立(日本のデンマーク復活)
- ：人材スキルの共有化のしくみづくり
- ：お互い様支援活動

●参加者の意見

- ：いつでも出かけて交流できる居場所
- ：協働を薦めるイベント
- ：人材発掘のための仕掛け
- ：人材のスキル活用(資格、特技を生かす)
- ：互助 支援⇔提供を幅広く

Bグループ

●一押し提案

- ：とりあえず“円卓会議”をやってみる
(中学校区を単位として)
走りながら考える！

●参加者の意見

- ：地縁の単位を見直してみる
- ：町内会長も勉強する
- ：参加者の半分以上を女性にする
- ：働き盛りの男性にも酸化してほしいので、安城では会社も巻き込む

Eグループ

●一押し提案

- ：情報共有のあり方をしっかりしよう
(情報格差を埋める支援、情報は一方通行じゃなくする)
当事者だけではなく皆で情報共有
- ：高齢者だけじゃなく、中学生、子育て世代、外国人、町内会に入っていない人(マンション等)も地域活動、市民活動の大切な担い手！！
上手く活用しよう

第3回は、『地域課題解決のための協働事業のアイデア出し』をテーマに4月16日(日)に開催します。